

国際中間会議プログラム

2017.08.01 版

2017年11月8日

	ルーム I	ルーム II
13:00-17:00	WFD ワークショップ	
19:00-21:00	歓迎レセプション	

2017年11月9日

	ルーム I	ルーム II
08:00-17:30	登録および展示、ポスター発表	
09:00-10:00	開会式	
10:00-10:30	国際基調講演	
10:30-11:00	ハンガリー基調講演	
11:00-11:30	休憩（ポスター見学）	
11:30-12:00	バイリンガル教育－基調講演	
12:00-12:30	手話言語と家族－基調講演	
12:30-13:30	バイリンガル教育 1	手話言語と家族 1
13:30-14:30	昼食（ポスター見学）	
14:30-17:00	バイリンガル教育 2	手話言語と家族 2
17:00-18:00	バイリンガル教育の総括、Q&A	手話言語と家族の総括、Q&A

2017年11月10日

	ルーム I	ルーム II
09:00-17:30	登録および展示、ポスター発表	
09:00-10:00	パネル討論：私たちの権利、私たちの投票	
10:00-10:30	就労－基調講演	
10:30-11:00	テクノロジー－基調講演	
11:00-11:30	休憩（ポスター見学）	
11:30-13:15	就労 1	テクノロジー1
13:15-14:30	昼食（ポスター見学）	
14:30-16:30	就労 2	テクノロジー2
16:30-17:30	就労の総括、Q&A	テクノロジーの総括、Q&A
17:30-18:00	閉会式	
19:00-24:00	ガラ・ディナー（オプション）	

プログラム詳細

2017年11月9日

08:00-17:30	登録および展示オープン	
09:00-10:00	<p>開会式</p> <p>歓迎メッセージ：</p> <p>主催団体：アダム・コーシャ博士、SINOSZ 会長</p> <p>国際組織：コリン・アレン氏、WFD 理事長</p> <p>ハンガリー後援：Mr. Viktor ORBAN、ハンガリー首相</p> <p>国際後援：リーサ・カウピネン氏、WFD 名誉会員、元理事長</p> <p>国連：Ms. Catalina DEVANDAS AGUILAR、障害者権利特別担当官</p>	
10:00-11:00	<p>基調講演</p> <p>Ms Victoria MANNING (ニュージーランド、デフ・アオテアロア)</p> <p>Dr. Csilla BARTHA および Peter Zalan ROMANEK (ハンガリー科学アカデミー言語研究所多言語研究センター)</p>	
11:00-11:30	休憩 (ポスター見学)	
11:30-12:00	<p>バイリンガル教育—基調講演</p> <p>Dr Krister SCHONSTROM (スウェーデン、ストックホルム大学言語学部)</p>	
12:00-12:30	<p>手話言語と家族—基調講演</p> <p>Joni OYSERMAN, Signhands (オランダ)</p> <p>Mathilde DE GEUS (オランダ、DGA コンサルタント会社)</p>	
12:30-13:30	バイリンガル教育 1.	
	12:30-12:50	<p>フランドル地域のインクルージョン：一般学校における手話言語バイリンガル教室</p> <p>Marieke KUSTERS (ベルギー・ヘント、フランドルろう団体)</p>
	12:50-13:10	<p>教育をイネーブル化する—南スーダンのろう児の明るい未来</p> <p>Sophia MOHAMMED、Ester IKERE (南スーダン、世の光)</p>
	13:10-13:30	<p>手話言語、インクルージョン、民主主義—不快な調和</p> <p>David GIBSON (オーストラリア・ブリスベン、クィーンズランドろう者サービス)</p>
12:30-13:30	手話言語と家族 1.	
	12:30-12:50	<p>ろうの乳幼児の家族へのフランドル手話言語の導入</p> <p>Kathleen VERCRUYSSSE (ベルギー・ヘント、フランドルろう団体)</p>
	12:50-13:10	<p>ろう家族の中のきこえる子どもと人権としての言語</p> <p>Amy WILLIAMSON (米国ギャロデット大学)</p>

13:10-13:30	きこえる家族のための家族プロジェクトにおける手話言語の学習 Ritva TAKKINEN (フィンランド・ユヴァスキュラ大学)
13:30-14:30	昼食 (ポスター見学)
14:30-18:00	バイリンガル教育 2
14:30-14:50	インクルーシブ教育におけるバイリンガル教育 Jaana KESKI-LEVIJOKI, Aino LAIHO (フィンランド・カーリナ、Piispanlahde 学校)
14:50-15:10	変化をもたらすバイリンガルろう教育: 縮みつつあるろうコミュニティを反転するためのカギ 榎陽子、森田明、岡典江(日本・東京、明晴学園ろう学校)
15:10-15:30	科学的なバイリンガル教育の発展—何を基にするか? Camilla LINDAHL(スウェーデン、ストックホルム大学数理科学教育学部)
15:30-15:50	GESTU 手話言語辞書 Lydia FENKART、Tu Wien (オーストリア・ウイーン)
15:50-16:10	21 世紀の手話言語使用者と学習者のための教授法と成人教育法 Patty HERMANN-SHORES, HfH Zurich (スイス・チューリッヒ)
16:10-16:30	「ろう教授法」—なぜバイリンガルを教えるだけでは不十分なのか? Klaudia GROTE, Ege KARAR, Horst SIEPRATH, Svetlana MATIOUK, Bastian STAUDT, Kirsten ZAEH (ドイツ・アーヘン、アーヘン大学 SignGes RWTH)
16:30-16:50	人権として手話言語の教育? 国連障害者権利条約第 24 条の解釈および法制化の歴史の分析 Joseph Murray (米国ギャロデット大学), Maartje DE MEULDER (ベルギー・ナミュール大学), Delphine LE MARIE (ベルギー・ヘント・フランドルろう協会)
17:00-17:15	総括
17:15-18:00	質疑応答
14:30-18:00	手話言語と家族 2.
14:30-14:50	最初の手話—NZ の家族への NZSL とろう文化の紹介 Bridget FREGUSON (ニュージーランド・ウェリントン、デフ・アオテアロア・ニュージーランド)
14:50-15:10	Doofgewoon.nl: ろう児の家族に向けた、ろうと手話言語に関する肯定的な情報を満載したウェブサイト Merel VAN ZUILEN, Onno CRASBORN (オランダ、Radboud 大学)
15:10-15:30	親の選択から親の義務へ: 生得権としての手話言語

	Steven SURRENCY (米国テンパ、南フロリダ大学)
15:30-15:50	なぜ、国連レベルの宣言が必要なのか？ Filip VERHELST(デンマーク、Castberggard)
15:50-16:10	ろうコミュニティから一般社会への手話言語とろう文化の移住 Russell ROSEN (米国ニューヨーク市立大学)
16:10-16:30	デンマークろう協会と、CRPD 実施のための政治プロセス Jenny NILSSON (デンマーク・コペンハーゲン、デンマークろう協会)
16:30-16:50	LEAD-K: 言語喪失を止めさせ、言語平等なろう児のための幼稚園を準備する政治プロセス Roz ROSE (米国メリーランド・Rosen グローバル・サービス), Sheri FARHANI (米国カリフォルニア・NorCal コミュニティセンター), Jay INNES(米国デラウェア州オーシャンビュー、Enterpreneurial Solutions International)
17:00-17:15	総括
17:15-18:00	質疑応答

2017年11月10日

09:00-17:30	登録および展示オープン
09:00-10:00	パネル討論会：私たちの権利、私たちの投票 司会： Ms Roberta CORDANO (米国ギャロデット大学学長)
10:00-10:30	就労―基調講演 Mr. Bruno DRUCHEN (南アフリカろう協会 DeafSA)
10:30-11:00	テクノロジー―基調講演 Dr. Antal KUTHY (ハンガリー E-Group)
11:00-11:30	休憩 (ポスター見学)
11:30-13:15	就労 1.
11:30-11:50	設計 (デザイン)：欧州ろう者の就労 Christian RATHMAN (ドイツ・ハンブルグ大学), Jemina NAPIER(英国エジンバラ・Heriot-Watt 大学), Leeson LORRAINE, Haaris SKEITH(アイルランド・ダブリン、ドリニティカレッジ)
11:50-12:10	労働市場における、サウジろう者の就労
12:10-12:30	握手 Handshakes の為の手話 (S 4 H) ―集まろう：ろう青年と雇用者 Manulela HOFER, Bernd HOLZGETHAN, Monika HAIDER(オーストリア・ウィーン Equalized 社)
12:30-12:50	仕事に通訳者を通してろう者を知る：職場で、ろう者はきこえる同

	僚にどのように認識されているか？ Jemina NAPIE (英国エジンバラ Heriot-Watt 大学), Alys ALYS(英国マンチェスター大学), Rosemary ORAM (英国マンチェスター大学)
12:50-13:10	ろう者・難聴者のための古典的なテレビ TIPK TV Bojan MORD (スロベニア・リュブリャナ・マーケットTV)
11:30-13:15	テクノロジー 1
11:30-11:50	テクノロジー設計の様式 (モダリティ) の関連性 Svetlana MATIOUK, Klaudia GROTE, Christine LINNARTZ, Horst SIEPRATH, Ege KARAR, Kreisten ZAH (ドイツ・アーヘン、アーヘン大学 SignGes RWTH)
11:50-12:10	SignAll – 手話言語自動翻訳の複合プロトタイプ Dawn CROASMUN, Marton KAJTAR, David RETEK, David PALHAZI, (ハンガリー・ブダペスト Sign All)
12:10-12:30	ソーシャルメディアをろう者向けにエンパワーする Joel BARISH(米国テキサス DeafNation)
12:30-12:50	テクノロジーを用いた移行計画に関し、ろう・難聴学生の高等教育を支援する Matjaz DEBEVC, Ines KOZUH (スロベニア・マリボー大学)
12:50-13:10	コミュニケーション改革:アクセシビリティを目指す企業のための大使として – 新興企業 Pedius, IntendiMe and Veasyt Gabriele SERPI (イタリア・ローマ、World Deaf Tech)
13:15-14:30	昼食 (ポスター見学)
14:30-17:30	就労 2.
14:30-14:50	ろう者のメンタリング (指導・助言): ドイツのろう青年の学校から職業への移行のためのピア・カウンセリング Ege KARA(ドイツ・アーヘン大学 SignGes RWTH), Florian KRAMER(ドイツ・アーヘン大学 SignGes RWTH), Alejandro OVIEDO (ドイツ・ケルン大学)
14:50-15:10	インドのろう者向け職業訓練におけるろう者エンパワーメントとコミュニケーション・スキル: 合格? 失敗? Alim CHANDANI, Amanda FISH, Babloo KUMAR, Tushar VIRADIYA インド・ニューデリー、Centum-GRO イニシアティブ
15:10-15:30	労働市場へのアクセス: 課題と、偏見の変え方 Cathrine MEJDAL (デンマーク・コペンハーゲン、デンマークろう

	協会)
15:30-15:50	労働の権利をろう者に伝える方法？ 国連 CRPD 第 27 条の文化翻訳における刷新的アプローチ Delphine LE MAIRE (ベルギー・ヘント、フランドルろう団体)
15:50-16:10	ろう従業員が普段、仕事で経験すること Mette SOMMER LINDSAY (英国エジンバラ、Heriot-Watt 大学)
16:30-16:45	総括
16:45-17:30	質疑応答
14:30-17:30	テクノロジー2.
14:30-14:50	字幕へのアクセス Ruth WARICK (カナダ・バンクーバー、国際難聴者連盟)
14:50-15:10	インクルージョンのための ICT : ウガンダにおける刷新的概念 Simon ROKU, Joseph MBULAMWANA (ウガンダ・カンパラ、ウガンダろう協会)
15:10-15:30	情報通信技術におけるろう者の為のアクセシビリティ Kenneth GOULSTON (米国フォートマイヤーズ, Sprint 社)、 Michael ELLIS (米国デンバー, Sprint 社)
15:30-15:50	TeckenPOP Mindy DRAPSA (スウェーデン・ストックホルム、Dramaski)
15:50-16:10	ろう者のためのモスクワ Vladimir BAZOEV (ロシア・モスクワ、モスクワろう協会)
16:30-16:45	総括
16:45-17:30	質疑応答
17:30-18:00	閉会式
19:00-24:00	[オプション] ガラ・ディナー(キャッスル・ガーデン・バザール)

ポスター発表

チャドのろう教育経歴における手話言語

Yves BEOSSO

チャド・ N djamena、 *Deaf Primary School N djamena Chad*

ろう児による言語の早期獲得—手話言語の前に口話アプローチ

Shirley PINTO

イスラエル・テルアビブ

バイリンガル手話プログラムの開拓: 途上国におけるろう教育プログラムのモデル

Richard GEARY

パキスタン・カラチ、 *Deaf Reach Schools*

モスクワ市組織 (MCO) ロシアろうソサエティ (RSD)の情報技術

Marina AVRINA

ロシア・モスクワ *Moscow State University of Education*

ろう者のインクルーシブな就労: 戦略、課題、進展。実施例

Nadine DLOUHY

オーストリア・ウィーン *Equalizent 社*

犯罪の世界におけるろう者

Galina GAVRILOVA

ロシア・モスクワ *Moscow State Social University*

ろう児と一緒に美術(博物)館ツアー

Liudmila ZHADAN

ロシア・モスクワ *Moscow Museum "Garage"*

ろう者や視覚障害者の安全性と自律性のための製品設計

Hassen CHAIEB

フランス・パリ、 *Jenile International*

プエルトリコのろう者の学業的・社会的向上を推進する教育への人権

Krystal CALERO-ASENCIO, Yarett PINEIRO

プエルトリコ・アグアディヤ *Instituto LEA*

人工内耳はろう児？

Bojan MORD

スロベニア・リュブリャナ *Institute for the Deaf and Hard of Hearing Ljubljana*

モバイル・アプリケーション国際手話

Bojan MORD

スロベニア・リュブリャナ *Creative Studio*

言語学習やウェブシステム開発のための情報技術分野における学術プロジェクト

Joaquim Amado DA SILVA JÚNIOR

ブラジル・リオデジャネイロ

政府の政策決定への影響の及ぼし方？ 公開任用の役割— 意見を反省させよう

Asif IQBAL

英国ロンドン

ろうサービス財団手話言語教師ジュニア・プログラム

Mika HAKKARAINEN, Maritta TARVONEN-JARVA

フィンランド・ヘルシンキ *Kuurojen Palvelusäätiö sr/Juniori-ohjelma*

ろうの移民と難民。2度にわたる外国人。手話言語を通じたインクルージョン。

Enrico DOLZA, Laura CAPORALI

イタリア・トリノ *Istituto dei Sordi di Torino - Turin Institution for the Deaf*

スコットランドで英国手話言語を Fàilte する:スコットランドの状況に手話言語を組み込む

Frankie MCLEAN

英国エジンバラ, *Deaf Action on behalf of Scottish Government*

家庭内の手話言語の伝搬:インド手話言語の展望

Sachin SINGH

インド・デリー *Indian Sign Language Research and Training Centre*

労務における聴覚障害者への差別

Jana HAVLOVÁ

チェコ共和国ブルノ *Faculty of Law, Masaryk University*

ウェブベースの韓国手話言語辞書の内容構成と構成表現に関する研究

Byeongcheon YOON¹, Inkyung KOH¹, Seona SHIN¹, Heekyung CHO¹, Myeonghee

YOO¹, Boseok KIM¹, Seongheon KIM²

¹ 韓国ソウル、ナザレン大学

² 韓国ソウル、IMTソフト

バイリンガル・バイカルチュラルなろう歴史教育

Mark ZAUROV

ドイツ・ハンブルグ *Universität Hamburg*

ろう乳幼児の言語選択: (きこえる)親へのアドバイス

Christian RATHMANN¹, Tom HUMPHRIES², Donna Jo NAPOLI³, Carol PADDEN²,
Poorna KUSHALNAGAR⁴, Gaurav MATHUR⁴, Scott SMITH⁵

¹ ドイツ・ハンブルグ *Universität Hamburg*

² 米国サンディエゴ *UCSD*

³ 米国スワースモア大学

⁴ 米国ギャローデット大学

⁵ 米国ロチャスター *RIT*

バイモダル・バイリンガル言語の獲得・使用に関する2つの個人的経験

Ritva TAKKINEN

フィンランド・ユヴァスキュラ大学

LEAD-K: ろう児のための幼稚園の対応を保障するための体制変更の必要性

Jay INNES¹, Roz ROSEN², Sheri FARHANI³

¹ 米国ダーレウェア州 *Entrepreneurial Solutions International*

² 米国メリーランド州シルバースプリング *Rosen Global Services*

³ 米国カリフォルニア州サクラメント *NorCal Community Center*

バイリンガル教育における肯定的な精神健康と福祉の推進

Catherine DREW

英国ロンドン *Frank Barnes School for Deaf Children*

ろう家族におけるバイリンガルな教えの実践

Anna ZHADAN

ロシア・モスクワ *Moscow State Linguistic University*

U-Touch 2:前置詞を教えるために設計されたソフトウェアに関するグループ研究

Paul GOLDING

ジャマイカ・キングストン *University of Technology, Jamaica*

今日の科学は明日の技術

Laszlo LOVASZY

スイス・ジュネーブ、*国連*

バイリンガル教育 - ろう者のオールランドな発展のための基盤

Dilip DESHMUKH

インド・イチョーカランジ *Deaf Foundation*

Ishzz781

Ish JAIN

インド・デリー *Deaf Foundation*

ポルトガルにおけるバイリンガル教育: ろう者エンパワーメントの為の道をつくる

Isabel CORREIA

ポルトガル・コインブラ *Aldahablarcom*

全国レベルの法制度を通じた CRPD の実施

Michael STEIN

米国ワシントンDC、*Deaf Legal Advocacy Worldwide*

L1 Imperative(指示・命令・義務)としての手話言語 - クロアチアからの洞察

Dorijana KAVČIĆ, Nives GOTOVAC

クロアチア・ザグレブ、*Association of Deaf and Hard of Hearing of the city of Zagreb*

Signing Moocs と欧州ろう者 E ユニバーシティ: マルチモダルかつ国際的なコミュニケーション

Siglinde PAPE

フランス・クレツルモン=フェラン、*University of Clermont Auvergne*

ブラジルで発見された、新興の手話言語と孤立したコミュニティのマッピング

Diná SILVA

ブラジル・フォルタレザ、*State University of Ceará Brazil*

法律を通して、ろう児の言語への人権を実現する

Tawny HOLMES

米国メリーランド州シスバースプリング *National Association of the Deaf*

コミュニケーション・アクセシビリティー最新の技術デバイス

Niklas CASSEL

スウェーデン・ウプサラ *NWise AB*

ケニアの労働市場におけるろう者の就労と仕事の課題

Monicah TENAI

ケニア、*Golden Hearts Inclusive Centre*

ろう者ときこえる人の事情：言語的課題

Bienvenu MVUEZOLO

コンゴ民主共和国、*CEPROCOCOM Afrique, Kinshasa*

開発分野における、ろう者のためのコミュニケーション・情報アクセス

Sarah HOUGE

米国ニューヨーク、*Mill Neck International Program*